



思索の広場

中央図書館の前にある思索の広場は水原キャンパスの中でも最も有名な場所です。左右には高くそびえ立つ27メートルのオペリスクがあり、進取的な慶熙人の精神をよく表現しています。図書館の正門前には、ロダンの『考える人』をもとに、原作の1.5倍の大きさで制作された銅像が置かれています。その銅像は5大洋6大陸を眺めながら思索している姿が印象的です。広場の名前は、その銅像から採ったものです。他にも広場には噴水台や藤棚のベンチがあり、学生はもちろん近隣の住民にも愛される名所です。

国際交流処 慶熙大学校

446-701 京畿道 龍仁市 器興区 書川洞1
Tel: 82-31-201-3177-8 / Fax: 82-31-201-3179
Email: intlctr@khu.ac.kr // <http://www.kyunghee.edu>

慶熙大学へようこそ

水原キャンパス・ツアーガイド



国連平和公園

国連平和公園は国連の精神を象徴します。水原キャンパス内に約10万平方メートルの規模で造成され、2007年に完工する予定です。その公園はNGO関連の教育、研究、実践の世界的な中心地として、国連と世界市民社会に恒久的な平和と共栄に寄与すると期待されています。特に、国際機構、政府、NGO、企業、学界、市民など多様な実践の主郎らがともに地球に関する議題を解決していく認識と実践の場として期待されています。



中央図書館

中央図書館は1980年に水原キャンパスの開校と同時に工科大学内に開館されました。慶熙大学内の建物の中でも最も雄大な現在の中央図書館は、1994年に22,880平方メートルの敷地に建てられたものです。建物の1階と3階には慶熙大学本部の主要部署が入っています。2004年にはUN寄託図書館に指定され、UNが発刊する多様な資料の寄贈を受け、運営しています。



国連寄託図書館

韓国には全部で9つの国連寄託図書館があり、その中でも7つが韓国の主要大学の図書館にあります。水原キャンパスの中央図書館は2004年に国連寄託図書館に指定され、国連が発刊する多様な資料の寄贈を受けて運営しています。2006年には国連広報官のハムマシュールドと共同主管で、国家単位の世界最初の国連資料情報検索に関するワークショップを開催しました。

慧静(ヘジョン)博物館

慶熙大学の慧静(ヘジョン)博物館は韓国で初めて設立された最大規模の古地図専門の博物館です。2003年3月に慧静文化研究所として発足し、2004年5月に慧静博物館として開館しました。約3,300平方メートル規模の慧静博物館には慶熙大学の教授であるキムヘジョン館長が約30年間収集してきた15~20世紀の東洋と西洋の古地図の本、古地図関連の史料、古文献などを寄付したもので、およそ900点にのぼる貴重な資料が展示・保存されています。東洋と西洋で制作された古地図、地図の本、古地図の史料と古文献は、韓国国内だけでなく、世界でも最高の水準を誇っています。



宇宙科学教育館

宇宙科学教育館はアジア太平洋大学院と工科大学の間の坂に位置しています。1992年に完成された宇宙科学教育館は、遠くから見てもわかるようにドーム型の独特な形になっています。地下と1階には展示館があり、2階と3階には天文台があります。展示館には宇宙と人類の起源、歴史、進化過程、未来の姿などが展示されています。

宇庭園

正門を入ってすぐ右側にある建物が宇庭園(ウジョンウォン)です。1998年に開館した宇庭園は、国内の大学の中で最高の施設と規模を誇る学生寮です。延べ面積は約33,700平方メートルで約2,000名を収容することができます。各部屋にはトイレ付きバスルーム、インターネット、電話などの施設が完備しています。1階と地下には学生たちに安定した勉学と生活の場を提供するため、コンビニエンスストア、本屋、文房具屋、飲食店、美容室など多様な施設も設けられていて、新しい形態の学生寮文化を開いたと評価されています。

